

科目名 (Eng)		日本語 (Japanese)								
担当教員		高橋 圭								
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目	
		一般科目コミ	1	通年	必修	4	120	一般	A	
目標基準との対応		福島高専の教育目標との対応：(F-1)。(F-2). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6).								
授業の概要と方針		①「評論文や小説、古典作品の読解」、②「自らの意見を文章にしてまとめる」、③「漢字・語彙等の学習」を通じて、日本語の運用能力を高めることを目的とする。								
到達目標		①筆者の主張を正確に把握し、それに対する自らの意見を明確な日本語で表現することができる。 ②文章の読解や作成を通して、論理的な思考力を身に付ける。 ③日本語に関するさまざまな知識（漢字・語彙・文法等）を身に付ける。								
授業計画										
週	授業項目	理解すべき内容					事前学習			
前期	1	随想「『祝福』のことば」	高専国語への導入と基礎力の確認					授業の前に本文を一読し、漢字の読み、語句の意味を調べておく。また、事前に課題が出された場合は、必ず実施し、授業開始時に提出できるようにしておくこと。 漢和辞典がひけるようにしておく。 1～9週と同様の準備をしてくること。 テスト問題を持参。		
	2	評論「水の東西」	基本的語彙・表現の確認と内容把握							
	3	古文「田舎の児、桜の…」	歴史的仮名遣いと古文の基礎							
	4	古文「後の千金のこと」	歴史的仮名遣いと古文の基礎							
	5	小説「羅生門」	作者と作品の背景・基本的な語彙と表現の確認							
	6	小説「羅生門」	物語の展開の把握、登場人物の心理の理解							
	7	評論「情報流」	基本的語彙・表現の確認と内容把握							
	8	詩「レモン哀歌」他	詩の言葉・視点の理解							
	9	評論「命は誰のものなのか」	基本的語彙・表現の確認と内容把握							
	10	漢文「五十歩百歩」	漢文訓読の基礎							
	11	漢文「借虎威」「蛇足」	物語の読解、故事成語の成り立ち							
	12	評論「地球の有限性と人間」	基本的語彙の確認、全体の構成の把握							
	13	評論「地球の有限性と人間」	内容の把握、全体の要約							
	14	評論「ネットが崩す公私の境」	基本的語彙・表現の確認と内容把握							
	15	テスト返却、解説	テスト問題の解説							
後期	16	古文「公世の二位の…」	筆者と作品の背景・基本的語彙の理解					重要な古文単語を調べておく。 1～9週と同様の準備をしてくること。 本文を書き下し文にしてくること。 1～9週と同様の準備をしてくること。 重要な古文単語を調べておく。 テスト問題を持参。		
	17	古文「ある者、子を…」	基本的語彙・係り結びの理解、内容の把握							
	18	古文「花は盛りに」	用言の活用・基本的文法事項の理解、内容の把握							
	19	小説「富嶽百景」	作者と作品の背景・基本的な語彙と表現の確認							
	20	小説「富嶽百景」	物語の展開の把握、表現と構成の特徴							
	21	評論「ものことば」	基本的語彙の確認、全体の構成の把握							
	22	評論「ものことば」	内容の把握、全体の要約							
	23	漢文「春暁」他	漢詩の特徴							
	24	漢文「登岳陽楼」他	漢詩の鑑賞							
	25	評論「余暇について」	基本的語彙の確認、全体の構成の把握							
	26	評論「余暇について」	内容の把握、全体の要約							
	27	評論「見る一考える」	基本的語彙・表現の確認と内容把握							
	28	古文「芥川」	作品の背景・基本的語彙の理解							
	29	古文「東下り」	助動詞の活用と意味の理解、内容の把握							
	30	テスト返却、解説	テスト問題の解説							
試験について		中間試験：共通科目試験日に50分の試験を実施する。期末試験：50分の試験を実施する。								
評価方法		定期試験の成績を70%、小テスト・課題・平素の成績等を30%として評価する。								
教科書		『国語総合』三省堂、『常用漢字の級別学習コンプリート』京都書房								
参考書		国語辞典・古語辞典・漢和辞典（各自で用意すること）								
関連科目										
履修上の注意		『常用漢字』に基づいた小テストを計8回実施する。十分に準備した上で臨むこと。また、日頃から多くの文章に触れるよう心がけること。								